

Active activity

しま×にじ 通信

Active activityで実施している「しま×にじ」の活動を紹介します。

▶メンバー

子育て応援課	杉本	スポーツ振興課	山下
市民協働課	天草	市民協働課	藤原
人事課	大石	建設課	柴田
市民協働課	原田	内陸フロンティア推進課	村松

しま×にじの活動目的

- ▶職員が性の多様性やジェンダー問題について、正しい知識や考え方をもち、組織内で性別に関わりなく能力を発揮できる環境整備を目指していきます。
- ▶市民に対しても性別・外見などに関わりなく適切な対応を心がけられるよう、グループで意見や考えを深めていきます。

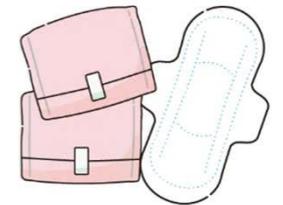
▶グランドルール

- 🗨️ 人の話を遮らない。最後まで聞く。
- 🗨️ 他の発言を否定(ジャッジ)しない。
- 🗨️ 正解はありません。考えることが大切！
- 🗨️ 年齢や階級の垣根を越えて交流しよう。
- 🗨️ 無理に参加・発言しなくてもOK。

▶動画視聴

特定非営利法人 お客様がいらっしゃいました※
「タブーに踏み込む僕の一步～生理痛を体験してみた～」

<https://youtu.be/086EzV0qKaw?si=2kHHSr i byHLtCH1D>



※同志社大学の学生が中心となって設立した団体。生理の貧困をはじめ、生理に悩む方への支援と生理に対する理解が高まることを目指して活動している。

参加者の感想・意見（抜粋）

生理休暇という制度はあっても取りづらい。ほとんどの人が取りたくても取れていないと思う。

女性特有の症状や痛みには、同性からの無理解もある。「これくらいで甘えるな」という意識は、自分たちを苦しくするだけだと思う。

生理痛を体験できる機械を自分も試してみたい。機械は止めることができるけど、実際の生理の痛みはコントロールできない。

生理痛だけでなく、出産の痛みも体験できるものがあったら良い。

以前勤めていた職場では男性育休の前例がなく、初めて取得した人が冷ややかな目で見られていた。

育児「休業」という言い方が良くないのでは？ 休みと言っても、怠けるために取るわけではない。

休む人の穴埋めをする人たちにも手当が出れば、休みやすくなる。